

平成 29 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社青山財産ネットワークス  
 代 表 者 代表取締役社長 蓮見 正純  
 (コード番号 8929 東証第二部)  
 問合せ先 取締役執行役員管理本部長 水島 慶和  
 (TEL 03-6439-5800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 8 月 9 日に公表した平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,800	700	570	550	46.70
今回修正予想(B)	14,420	751	628	587	49.75
増減額(B-A)	△ 380	51	58	37	
増減率(%)	△ 2.6	7.3	10.2	6.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	14,275	485	471	518	44.21

(2)平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	360	400	33.96
今回修正予想(B)	10,507	448	558	47.26
増減額(B-A)	△ 1,493	88	158	
増減率(%)	△ 12.4	24.4	39.5	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	10,977	395	480	40.96

2. 修正の理由

(連結)

連結業績予想における売上高の減少要因につきましては、不動産取引収益に関しまして、子会社の収益が寄与したものの、収益不動産の購入コンサルティングの成約が前回予想を下回ったことによるものです。利益面に関しましては、前回予想を上回る見込みです。

(個別)

個別業績予想における売上高の減少要因につきましては、財産コンサルティング収益は堅調に推移したものの、不動産取引収益に関しまして前回予想を下回ったことによるものです。

経常利益の増加要因につきましては、事業承継コンサルティングによる収益が好調に推移していること、土地持ち資産家に対する財産コンサルティングについては前年に引き続き堅調に推移していること、および、「特別目的会社を活用した不動産特定共同事業」の第一号案件として石川県小松市と取組みを始めるなど、新商品・新事業の売上げが利益に寄与し始めたこと、等が主な要因であります。

当期純利益につきましては、来期の利益も好調に推移すると見込まれることから、繰延税金資産を積み増したため、法人税等調整額が減少し、前回予想を上回る見込みとなりました。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上